

別紙

I. 事業評価総括表

平成25年度 電源立地地域対策交付金事業評価報告書

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	大野小学校プール改修事業	岡山県鏡野町	23,184,000	20,200,000	
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	奥津小学校改修事業	岡山県鏡野町	193,725,000	170,800,000	
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	上齋原観光スポーツ施設改修事業	岡山県鏡野町	154,087,480	128,900,000	
4	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	除雪車整備事業	岡山県鏡野町	27,562,500	25,000,000	
5	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	花美人の里改修事業	岡山県鏡野町	114,243,150	50,000,000	
6	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	クアガーデンこのか維持運営事業	岡山県鏡野町	12,481,595	10,000,000	
7	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業	岡山県鏡野町	103,668,051	95,100,000	
8	地域活性化措置	恩原高原氷紋まつり事業	岡山県鏡野町	6,500,000	5,000,000	
				635,451,776	505,000,000	

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	大野小学校プール改修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町円宗寺地内		
交付金事業の概要		プール、プールサイド、管理棟、電灯設備、機械設備の改修		
総事業費	23,184,000	交付金充当額		20,200,000
		うち文部科学省分		20,200,000
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		老朽化した設備を整備することにより、児童が安心して水泳の授業に取り組める施設となり、水泳技能の習得、体力向上が図れるようになった。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	工事の請負	指名競争入札	(株)西山工業	23,184,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
充当予定なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	奥津小学校改修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町女原地内			
交付金事業の概要	校舎棟・特別教室棟 外部改修、内部改修、電気設備、機械設備 食堂棟 外部改修、内部改修、機械設備工事			
総事業費	193,725,000	交付金充当額	170,800,000	
		うち文部科学省分	170,800,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	<p>老朽化した設備を整備することにより、児童等の学習及び生活のための空間として、児童の健康と安全を十分に確保することができ、快適で豊かな施設環境を確保することができた。安心して学びやすい施設環境を形成することにより校内における怪我等の事故を無くし、維持管理の行いやすい施設となった。</p>			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	工事の請負	指名競争入札	(株)鏡水	193,725,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
充当予定なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業名		
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	上齋原観光スポーツ施設改修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町上齋原地内			
交付金事業の概要	バックスクリーン改修、スコアボード改修、防球ネット改修、野球場整備、野球場本部席改修、テニスコート改修、本部席テニスコート電気設備改修、機械設備工事（野球場受水槽付ポンプユニット）			
総事業費	154,087,480	交付金充当額	128,900,000	
		うち文部科学省分	128,900,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	施設を改修したことにより、利用客の安全性及び利便性が確保でき、観光面はもとより町民の心身のリフレッシュ施設として広く利用に供することができ、住民福祉の向上に寄与することができた。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	工事の請負	指名競争入札	(株)鏡水	154,087,480
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
充当予定なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
4	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	除雪車整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町上齋原地内、羽出地内			
交付金事業の概要	上齋原地内 小型ロータリー除雪車 1台 羽出地内 除雪ドーザ 1台			
総事業費	27,562,500	交付金充当額	25,000,000	
		うち文部科学省分	25,000,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	除雪機械の更新により、除雪業務が円滑に進み、降雪時における雪害の防止と道路交通の確保ができ、地域住民の生活道路でもあり通勤・通学道でもある道路網の機能が保たれるようになり、地域福祉の向上、安全な住民生活及び利便性を維持できるようになった。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	工事の請負	指名競争入札	津山重機工業株式会社 ほか1社	27,562,500
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
充当予定なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
5	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	花美人の里改修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町奥津川西地内			
交付金事業の概要	建築主体工事 北浴室棟2F大浴場 北浴室棟2F通路 大浴場露天風呂 木製塀改修 排煙ホ ^レ ーター改修 エントランス玄関屋根 休憩所ホール屋根雨漏れ改修 健康増進室庇天井補修 及び上部屋根補修 屋上防水改修 ウッドデッキ改修 外部木製柱腐食部改修 外部道路側木製塀改修 電気設備工事 北浴室棟電気設備 屋上テラス外灯撤去 機械設備工事 温水ヒーター更新 温水濾過設備 温水制御盤改修 ジェットバス更新 換気設備			
総事業費	114,243,150	交付金充当額	50,000,000	
		うち文部科学省分	50,000,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	施設を改修することにより、利用客の安全性及び利便性が確保でき、観光面はもとより町民の心身のリフレッシュ施設として広く利用に供することができ、住民福祉の向上に寄与することができた。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	工事の請負	指名競争入札	(株)五月工建	114,243,150
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
充当予定なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
 (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 (5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
6	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	クアガーデンこのか維持運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町上齋原地内		
交付金事業の概要		施設管理費のうち重油代、電気代、浄化槽維持管理業務委託料相当額		
総事業費	12,481,595	交付金充当額	10,000,000	
		うち文部科学省分	10,000,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		「クアガーデンこのか」の固定的に必要な維持運営費へ交付金を充当することにより、健康増進、保養、交流と地域を活性化するための施設として広く利用に供することができ、住民福祉の向上に寄与することができた。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	電気給付契約 他	随意契約 他	中国電力 他	12,481,595
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
住民福祉の向上に必要な施設であるため、交付金を充当して継続して運営する。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
7	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町古川地内、円宗寺地内、下森原地内、中谷地内、香々美地内、真経地内、薪森原地内、女原地内、井坂地内、羽出地内、奥津川西地内、上齋原地内、富西谷地内		
交付金事業の概要		小学校人件費 16名、中学校人件費 7名、幼稚園人件費 8名、 公民館人件費 15名		
総事業費	103,668,051	交付金充当額		95,100,000
		うち文部科学省分		95,100,000
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		町立小学校及び町立中学校、町立幼稚園、公民館の固定的に必要な維持運営費への交付金充当により、子どもたちが良好な環境で義務教育や幼児教育を受けることができるとともに、町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化が図れるなど、生活文化の振興や福祉の向上に寄与することができた。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
住民福祉の向上に必要な施設であるため、交付金を充当して継続して運営する。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
7-1	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業（小学校維持運営事業）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町古川地内、円宗寺地内、下森原地内、香々美地内、真経地内、女原地内、上齋原地内、富西谷地内		
交付金事業の概要		小学校職員人件費 16名（臨時講師 9名、校務員 1名、臨時校務員 6名）		
総事業費	31,471,239	交付金充当額		29,300,000
		うち文部科学省分		29,300,000
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		「南小学校・大野小学校・鶴喜小学校・香々美小学校・香北小学校・奥津小学校・上齋原小学校・富小学校」の固定的に必要な維持運営費への交付金充当により、心身の発達に応じて義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする小学校を良好な環境で維持することができ、住民福祉の向上に寄与することができた。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
住民福祉の向上に必要な施設であるため、交付金を充当して継続して運営する。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
7-2	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業（中学校維持運営事業）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町竹田地内、井坂地内、上齋原地内、富西谷地内		
交付金事業の概要		中学校職員人件費 7名（臨時講師 3名、臨時校務員 4名）		
総事業費	12,931,648	交付金充当額	11,600,000	
		うち文部科学省分	11,600,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		「鏡野中学校・奥津中学校・上齋原中学校・富中学校」の固定的に必要な維持運営費への交付金充当により、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする中学校を良好な環境で維持することができ、住民福祉の向上に寄与することができた。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
住民福祉の向上に必要な施設であるため、交付金を充当して継続して運営する。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
7-3	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業（幼稚園維持運営事業）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町薪森原地内、上齋原地内		
交付金事業の概要		幼稚園職員人件費 8名（職員 2名、臨時職員 6名）		
総事業費	21,855,875	交付金充当額		19,800,000
		うち文部科学省分		19,800,000
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		「郷幼稚園・上齋原幼稚園」の固定的に必要な維持運営費に交付金を充当することにより、幼児を保育し適当な環境を与えてその心身の発達を助長し、社会に適応するよう育成することができ、住民福祉の向上に寄与することができた。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
住民福祉の向上に必要な施設であるため、交付金を充当して継続して運営する。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
 (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 (5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
7-4	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業（公民館維持運営事業費）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町竹田地内、古川地内、円宗寺地内、下森原地内、中谷地内、香々美地内、真経地内、女原地内、羽出地内、奥津川西地内、上齋原地内、富西谷地内			
交付金事業の概要	公民館職員人件費 15名（職員 3名、臨時職員 12名）			
総事業費	37,409,289	交付金充当額	34,400,000	
		うち文部科学省分	34,400,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	「中央公民館、芳野公民館、大野公民館、小田公民館、中谷公民館、香南公民館、香北公民館、郷公民館、泉公民館、羽出公民館、奥津公民館、上齋原公民館、富公民館」の固定的に必要な維持運営費に交付金を充当することにより、町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図ることができ、生活文化の振興、住民福祉の向上に寄与することができた。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
住民福祉の向上に必要な施設であるため、交付金を充当して継続して運営する。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
8	地域活性化措置	恩原高原氷紋まつり事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町上齋原地内		
交付金事業の概要		地域の特色である「雪」を利用したイベントの開催 雪像制作・展示、花火の打ち上げ、レーザーライトショー、雪上イベント、特産品の販売		
総事業費	6,500,000	交付金充当額		5,000,000
		うち文部科学省分		5,000,000
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		地域の特色である「雪」を利用し、子どもから大人まで楽しめるイベントを開催することで、スキー客のみならず一般の観光客へも恩原高原の魅力を広くPRし、入込客数が増加したことにより地域の活性化が図れ他地域との幅広い交流も可能となった。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	業務の委託	公募型プロポーザル入札方式	株式会社山陽放送サービス	6,500,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
充当予定なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。